

マツダ病院 (広島県)

「温かい思いやりの心で、最新・最良の医療を提供し、社会に貢献します」という理念のもと、マツダ病院^{※1}^{※2}は広島市東部の基幹病院として、医療を通じて地域貢献に取り組んでいます。

一日の外来患者約670名、入院患者約220名。救急車受け入れは一日平均7台（近隣のみならず広域からの受け入れ）。

企業立病院ですが、地域の皆さまの利用が外来の85%、入院の97%を占めています。**a b**

未来の医療職のための人材育成 人材 地域

目的：医療職を志す学生への実習体験などの提供を通じた人材育成を行う。

取り組み／2016年度実績

- 医療系学生の実習指導（8職種／専攻の学生238名受入）。 **c**
- 看護協会と連携し「ふれあい看護体験」を実施（高校生対象・14名受入）。
- 広島県と連携し「医療体験セミナー」を実施（医師を目指す高校生対象・5名受入）。**d**
- 中学生の「職場体験」を実施（6名受入）。
- 中学校対象に「出張教室」を実施（1回・21名参加）。

健康教室・講座の開催 人材 地域

目的：地域の皆さまへ最新の医療情報を提供し予防知識・意欲の向上に寄与するとともに、病気の正しい理解と病気への不安や悩みをケアする場などを提供する。

取り組み／2016年度実績

- 地域の自治体と連携し「公開医療講座」を開催（8回・246名参加）。
- 安芸地区ホスピスボランティア養成講座実行委員会と「がんサロン」を共催（12回・88名参加）。
- 「骨粗しょう症教室」を開催（12回・268名参加）。
- 地域の自治体と連携し「糖尿病教室」を開催（12回・187名参加）。
- 「心臓病・高血圧症教室」を開催（11回・89名参加）。
- 生活習慣病予防のための「健康教室」を開催（3回・143名参加）。

地域の災害時医療への備えとして関連機関と訓練 地域

目的：災害における医療を関連機関との連携により円滑に提供する。

取り組み／2016年度実績

- 府中町総合防災訓練へ医師・看護師が救護所でのトリアージ・応急救護として参加（14名）。
- 多数傷病者に対応する訓練を府中町と合同開催（7機関／170名参加）。 **e**

地域の救急隊との連携と情報発信 地域

目的：地域の救急医療の向上に寄与する。

取り組み／2016年度実績

- 広島市や府中町と連携し、地域医療の向上を目指した「救急症例検討会」を実施（4回・164名参加）。救急隊員と当院医師が、症例別の搬送時対応や救急搬送後の経過などの情報を共有し、地域の救急対応力向上への取り組みを強化。
- 医療情報・健康情報などを掲載した、「季刊誌ひまわり」を定期発行。病院内・近隣開業医へ無料配布。

環境 環境安全に貢献する取り組み 安全 交通安全に貢献する取り組み
人材 次世代を担う「人」を育成する取り組み 地域 地域に根ざした取り組み
財団 マツダ財団を通じての活動



a マツダ病院入院棟



b 2016年度の患者数

延べ 外来患者数	約161,000名／年	延べ 入院患者数	約78,700名／年
救急車 受入数	約2,500台／年	健康診断 受診者数*	約20,700名／年

* 従業員の健康診断含む。

c 医療系学生の実習受入実績

職種／専攻	人数
医師	45
薬剤師	9
看護師	120
臨床検査技師	4
理学療法士	7
歯科衛生士	46
医療経営	3
救急救命	4
合計	238

d 高校生医療体験セミナー (腹腔鏡手術体験)



e 傷病者対応訓練



※1 <http://hospital.mazda.co.jp>
 ※2 <http://hospital.mazda.co.jp/outline/csr.html>